

1 平成 25 年度事業報告

I 公 1：通信教育およびこれに関連する芸術、緑、ビジネス等の継続的教育・育成事業

[1] 各事業（公 1-1～公 1-4）の連携

当年度は、公 1 の事業全体の連携を図るために、総合写真展（公 1-3）の親睦パーティー会場や軽井沢ギャラリー館（公 1-4）に、公 1-1 としての通信教育講座の受講案内書を設置して、その普及を試みた。また、12 月 5 日から 11 日にかけて、東京都美術館で展示した総合写真展（公 1-3）の上位作品 25 点を、平成 26 年 3 月 1 日から 4 月 21 日まで、軽井沢ギャラリー館（公 1-4）においても展示し、より多くの人に写真の魅力を伝えるべく、観覧機会の拡大を図った。さらに、フォトマスター検定（公 1-2）においては、結果通知の際に写真関連の通信教育講座（公 1-1）や総合写真展（公 1-3）の周知を行い、知識の習得の機会や、作品発表の機会を与えるなどにより、各事業（公 1-1～公 1-4）の連携、連動を図った。

[2] 公 1-1：通信教育およびこれに関連するアセスメントテスト

定款第 4 条（事業）第 1 項第（1）号「自動車技術、園芸・植物、美術・芸術、職業指導など各種通信教育」、および同第（2）号「第 1 号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、通信教育講座およびアセスメントテスト（HOSMAT：ホスピタリティ・マインド診断）の事業を以下の通り行った。なお、通信教育講座の普及活動における平成 25 年度の受講生（入学者）総数は、募集予定人数 1,155 人に対して結果は 941 人、アセスメントテスト（HOSMAT：ホスピタリティ・マインド診断）は受診予定人数 243 人に対して結果は 118 人であった。

(イ) 通信教育講座について

1. 入学者、退学者および修了者の総数

文部科学省認定講座群においては、募集予定人数 575 人に対して平成 25 年度の入学者数は 403 人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった。

課程名	年度当初	年度間の異動			年度末
	受講者数	入学者数	中退者数	修了者数	受講者数
(合計)	170	403	211	216	146
家庭園芸講座	26	28	16	16	22
自動車講座	37	168	81	107	17
洋菓子講座	0	0	0	0	0
総合盆栽講座	0	0	0	0	0
造園講座	0	0	0	0	0
オートバイ講座	9	16	6	10	9
ハイキングとカメラ技法講座	2	7	3	4	2
庭木と果樹の手入れ講座	11	18	8	13	8
庭の工作物手作り講座	3	2	0	2	3
写真作品創作塾	41	73	50	26	38
植物医講座	18	61	26	24	29
庭師入門講座	4	20	7	9	8
美術品鑑賞鑑定入門	19	10	14	5	10

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、募集予定人数 580 人に対して平成 25 年度の入学者数は 538 人であった。また、同退学者および修了者数等は下表の通りであった（各講座、ホスピタリティ・マインド診断付を含む合計）。

課程名	年度当初	年度間の異動			年度末
	受講者数	入学者数	中退者数	修了者数	受講者数
合計	191	538	216	265	248
レタリング講座	0	0	0	0	0
A. 実践ボールペン字	16	31	18	8	21
B. ホスピタリティマインド	3	34	13	19	5
C. トラブル対応力でチャンスに変える	9	18	8	9	10
D. コーチングで人を動かす	9	16	4	17	4
E. 説得力・交渉力を行使する	9	41	16	16	18
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	16	25	11	15	15
G. アサーション表現力で魅了する	15	53	21	27	20
I. 問題解決能力で現状を打破する	11	9	6	7	7
J. リーダーシップを發揮する	11	50	20	16	25
K. 論理的思考で実現させる	7	32	12	16	11
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	12	35	14	8	25
M. プレゼンテーションで成功する	3	4	1	2	4
N. 心理学でビジネスの成果を生む	12	68	25	37	18
O. 図解思考がクリアにする	10	26	12	13	11
P. 情報を成果に育てる	3	2	2	0	3
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	2	5	1	2	4
R. 眠っている脳を刺激する脳の活性化法	8	34	12	21	9
S. 誰でもできる時間の超活用法	7	8	3	5	7
T. 誰もが納得、数字の力	4	17	5	9	7
U. 実効性のあるキャリアデザイン	3	1	1	0	3
V. 新・人間関係のビタミン	5	1	0	0	6
W. 強いビジネス組織をつくる	2	3	1	2	2
X. コンサル型ビジネスの達人になる	4	0	0	1	3
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	10	25	10	15	10

2. 普及活動について

新聞や雑誌の部数減少等に伴う近年のこれら媒体による受講生募集効率の大幅な低下を受けて、文部科学省認定講座の自動車講座や写真作品創作塾、美術品鑑賞・鑑定入門講座などについては、インターネットのリスティング広告も導入して普及活動を引続き行った。この方法によると経費対効果は向上するものの、まだまだ受講生を大幅に増加させる段階にまでは至っていない。しかしながら、時代の趨勢としてこの手段により普及活動を展開する方向性は変わらないので、さらに効果が出るよう引き続き研究を重ねて行くものとする。園芸、植物関連講座では、肥料・農薬・種苗メーカーを始めとする園芸・農業関連会社やホームセンターなどの職域における受講需要につき、今後もこの分野への普及活動の可能性を追求して行くものとする。自動車講座や家庭園芸講座では、矯正施設における社会復帰等に向けた教育を目的としての採用が、当年度も継続して行われた。これにより、当年度も該当者の社会復帰等に向けた教育支援に資することができた。

写真作品創作塾とハイキングとカメラ技法講座については、受験者が安定的に推移しているフォトマスター検定事業（公1-2）と連携して、受験者の学習に資する講座としての普及活動や、総合写真展（公1-3）の参観者に対する普及活動も行った。

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連を中心とする講座群においては、これらを採用する企業や地方公共団体などが着実に増加してきた環境を受けて、平成25年度の受講生数も着実に増加する傾向を示し、文部科学省認定講座群と合わせて幅広い領域における生涯学習、社会教育を推進することができた。

3. テキスト内容の見直し・改訂等

「総合盆栽講座」と「造園講座」は、テキスト内容および普及活動方法の見直しのために、当年度は普及活動を控えた。「洋菓子講座」は、普及活動について数年検討を重ねてきたが、講座運営の見込みが難しいので、当年度に文部科学省へ廃講許可申請を行なった。

文部科学省認定講座に準じて運営するビジネス関連講座の「ホスピタリティで業績アップ」と「心理学でビジネスの成果を生む」は再版のタイミングで小改訂を行なった。

4. 学習指導

学習指導における学習指導者（専門家）および教務責任者は下表の通りに組織して、各講座とも充実した添削指導を行い、学習途上における質問（質疑応答）に対しては詳細・的確・迅速に対応して受講生の学習意欲の向上を図った。添削指導の実施延べ回数は全講座の合計で5,069件、質疑応答は全講座の合計で656件であった（細目は下表）。

なお、企業・団体における受講に対しては、人事部などの統括部署宛に、受講生全員の学習進度や成績などを細かく報告するサービスも例年同様に実施した。

スクーリング（面接指導）については、テキストや添削指導だけでは教授しにくい学習内容を中心として実施した。

[文部科学省認定講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
家庭園芸講座	計3名 山形大学農学部卒：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
自動車講座	計3名 元読売江東理工専門学校講師：1名／ 読売自動車大学校専任教員：1名／ 中央大学理工学部卒：1名	事務局職員 1名
洋菓子講座	計1名 元洗足学園短期大学非常勤講師：1名	事務局職員 1名
総合盆栽講座	計2名 山形大学農学部卒：1名／ （株）花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名	事務局職員 1名
造園講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ （株）花門フラワーゲート技術者・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
オートバイ講座	計3名 読売自動車大学校専任教員：1名／ 三井住友海上火災保険（株）アジャスター・ 元読売江東理工専門学校講師：1名／ バイクジャーナリスト：1名	事務局職員 1名
ハイキングとカメラ 技法講座	計3名 写真家：1名／ 元国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名／ 国立科学博物館付属自然教育園研究官：1名	事務局職員 1名

講座名	学習指導者	教務責任者
庭木と果樹の手入れ講座	計4名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 山形大学農学部卒：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
庭の工作物手作り講座	計3名 造園設計事務所主宰者：1名／ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
植物医講座	計3名 東京農業大学農学部卒：2名／ 千葉大学環境健康フィールド 科学センター・農学博士：1名	事務局職員 1名
写真作品創作塾	計4名 写真家：4名	事務局職員 1名
庭師入門講座	計3名 1級造園施工管理技士：1名／ 日本大学生物資源科学部卒・ 2級造園施工管理技士：1名／ 東京農業大学農学部卒：1名	事務局職員 1名
美術品鑑賞・鑑定入門講座	計4名 武蔵野美術大学卒：1名／ 美術評論・鑑定家：1名／ 絵画保存修復工房代表：1名／ 陶磁資料館館長補佐：1名	事務局職員 1名

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の学習指導者および教務責任者]

講座名	学習指導者	教務責任者
レタリング講座	計3名 中央美術学園絵画科卒：1名／ 武蔵野美術大学卒：1名／ レタリング技能検定試験委員：1名	事務局職員 1名
実践ボールペン字講座	計2名 大東文化大学日本文学科卒・ 硬筆・毛筆書家：1名／ 法政大学文学部書道科履修・ 硬筆・毛筆書家：1名	事務局職員 1名
ホスピタリティで業績アップ講座	計2名 早稲田大学大学院商学研 究科博士課程修了・ ホスピタリティバンク研 究所代表：1名／ ホスピタリティバンク研 究所主任研究員：1名	事務局職員 1名
トラブル対応力でチャンスに変える／ コーチングで人を動かす／説得力・交 渉力を行使する／コミュニケーション で自信と信頼を得る／アサーション表 現力で魅了する／問題解決能力で表現 を打破する／リーダーシップを發揮す る／論理的思考で実現させる／発想 力・創造力でビジョンを練り上げる／ プレゼンテーションで成功する／心理 学でビジネスの成果を生む／図解思考 がクリアにする／情報を成果に育てる ／思わず誰かに話したくなるビジネス 雑学／眠っている9割を刺激する脳の 活性化／誰でもできる時間の超活用法 ／誰もが納得、数字の力／実効性のある キャリアデザイン／新・人間関係の ビタミン／強いビジネス組織をつくる ／コンサル型ビジネスの達人になる／ ビジネスで恥をかかない国語学	計2名 慶應義塾大学商学部卒・ 編集企画制作事務所エム スリー代表：1名／ 慶應義塾大学文学部 社会学科卒・エム・エフ・ ジー(株)顧問：1名	事務局職員 2名

[文部科学省認定講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数	受けた者の平均回数
(合計)	4,102	28.1	313.0	13.1
家庭園芸講座	286	13.0	22.0	13.0
自動車講座	2,338	137.5	138.0	16.9
洋菓子講座	0	0.0	0.0	0.0
総合盆栽講座	0	0.0	0.0	0.0
造園講座	0	0.0	0.0	0.0
オートバイ講座	78	8.7	13.0	6.0
ハイキングとカメラ技法講座	121	60.5	6.0	20.2
庭木と果樹の手入れ講座	124	15.5	16.0	7.8
庭の工作物手作り講座	16	5.3	2.0	8.0
写真作品創作塾	644	16.9	50.0	12.9
植物医講座	340	11.7	43.0	7.9
庭師入門講座	102	12.8	15.0	6.8
美術品鑑賞鑑定入門	53	5.3	8.0	6.6

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の添削指導状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数	受けた者の平均回数
(合計)	967	3.9	409	2.4
レタリング講座	0	0.0	0	0.0
A.実践ボールペン字	98	4.7	20	4.9
B.ホスピタリティマインド	80	16.0	27	3.0
C.トラブル対応力でチャンスに変える	27	2.7	14	1.9
D.コーチングで人を動かす	33	8.3	17	1.9
E.説得力・交渉力を行使する	57	3.2	29	2.0
F.コミュニケーションで自信と信頼を得る	40	2.7	20	2.0
G.アサーション表現力で魅了する	80	4.0	40	2.0
I.問題解決能力で現状を打破する	16	2.3	8	2.0
J.リーダーシップを発揮する	66	2.6	33	2.0
K.論理的思考で実現させる	48	4.4	24	2.0
L.発想力・創造力でビジョンを練り上げる	43	1.7	22	2.0
M.プレゼンテーションで成功する	6	1.5	3	2.0
N.心理学でビジネスの成果を生む	105	5.8	53	2.0
Q.図解思考がクリアにする	39	3.5	20	2.0
P.情報を成果に育てる	2	0.7	1	2.0
Q.思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	11	2.8	4	2.8
R.眠っている9割を刺激する脳の活性化法	83	9.2	28	3.0
S.誰でもできる時間の超活用法	20	2.9	7	2.9
T.誰もが納得、数字の力	39	5.6	13	3.0
U.実効性のあるキャリアデザイン	2	0.7	1	2.0
V.新・人間関係のビタミン	2	0.3	1	2.0
W.強いビジネス組織をつくる	8	4.0	3	2.7
X.コンサル型ビジネスの達人になる	2	0.7	1	2.0
Y.ビジネスで恥をかかない国語学	60	6.0	20	3.0

[文部科学省認定講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	516	3.5	63
家庭園芸講座	40	1.8	5
自動車講座	224	13.2	28
洋菓子講座	0	0.0	0
総合盆栽講座	0	0.0	0
造園講座	0	0.0	0
オートバイ講座	20	2.2	2
ハイキングとカメラ技法講座	8	4.0	1
庭木と果樹の手入れ講座	24	3.0	3
庭の工作物手作り講座	4	1.3	0
写真作品創作塾	92	2.4	11
植物医講座	60	2.1	8
庭師入門講座	20	2.5	2
美術品鑑賞鑑定入門	24	2.4	3

[文部科学省認定講座に準じて運営する講座群の質疑応答状況]

課程名	実施延回数	一人平均回数	受けた者の実人数
(合計)	140	0.6	70
レタリング講座	0	0.0	0
A. 実践ボールペン字	8	0.4	4
B. ホスピタリティマインド	10	2.0	5
C. トラブル対応力でチャンスに変える	6	0.6	3
D. コーチングで人を動かす	6	1.5	3
E. 説得力・交渉力を行使する	10	0.6	5
F. コミュニケーションで自信と信頼を得る	8	0.5	4
G. アサーション表現力で魅了する	14	0.7	7
I. 問題解決能力で現状を打破する	4	0.6	2
J. リーダーシップを発揮する	10	0.4	5
K. 論理的思考で実現させる	8	0.7	4
L. 発想力・創造力でビジョンを練り上げる	6	0.2	3
M. プレゼンテーションで成功する	0	0.0	0
N. 心理学でビジネスの成果を生む	18	1.0	9
O. 図解思考がクリアにする	8	0.7	4
P. 情報を成果に育てる	0	0.0	0
Q. 思わず誰かに話したくなるビジネス雑学	0	0.0	0
R. 眠っている9割を刺激する脳の活性化法	10	1.1	5
S. 誰でもできる時間の超活用法	2	0.3	1
T. 誰もが納得、数字の力	4	0.6	2
U. 実効性のあるキャリアデザイン	0	0.0	0
V. 新・人間関係のビタミン	0	0.0	0
W. 強いビジネス組織をつくる	0	0.0	0
X. コンサル型ビジネスの達人になる	0	0.0	0
Y. ビジネスで恥をかかない国語学	8	0.8	4

[スクーリング（面接指導）の実施状況]

過程名	実施回数	延日数	延参加数
(合計)	4	4	56
家庭園芸講座	1	1	7
総合盆栽講座	1	1	12
写真関連講座	1	1	30
庭木と果樹の手入れ講座	1	1	7

(ロ) アセスメントテスト (HOSMAT : ホスピタリティ・マインド診断) の単独受診

1. 受診者数およびホスピタリティ社会構築に向けた活動

精神性・倫理性・社会性などの詳細な分析と診断結果の提示を通じて、個人はもとより、組織としてもこれらの強み、弱みを認識し改善、改革して行く道標として、また、個人情報や消費者保護、偽装問題をはじめとして、社会の一員としてはもとより、各組織においても極めて高いホスピタリティ・マインドが求められる時代にあつて、EQ (情動指数)、SQ (精神指数)、MQ (倫理指数) の高い個人の養成や、組織における人材の適正配置、適正採用等につなげることができる本アセスメントテストの当年度の単独受診者総数は118名の結果で、計画した人数には達しなかった。

2. 専門家の関与

本アセスメントテストに関わる専門家は、前年度と同様、「ホスピタリティで業績アップ講座(旧名称：超CS!ホスピタリティ・マインド講座)」の学習指導者であるホスピタリティバンク研究所の専門家2名が就任して解析等に当たった。

[4]公1-2: 通信教育に関連する知識・技能の検定

定款第4条(事業)第1項第(4)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する知識・技能の検定」に基づき、当法人の写真関係の通信教育講座(写真作品創作塾、ハイキングとカメラ技法講座)に関連する、第11回フォトマスター/写真とカメラの実用知識検定(略称:フォトマスター検定)を、文部科学省後援により以下の通り実施した。

(イ) 試験実施日

平成25年11月17日・日曜日(通常日程試験)
及び11月18日・月曜日(特別日程試験)
及び11月19日・火曜日(特別日程試験)

(ロ) 試験会場

下記、各都道府県の一般会場及び団体受験会場(準会場)の、全国164箇所において実施した。

No.	会場略称	試験日									
1	札幌市	11月17日	31	三重県	11月17日	61	福島A	11月17日	91	秋田A	11月18日
2	青森県	11月17日	32	滋賀県	11月17日	62	千葉9	11月17日	92	福島9	11月18日
3	岩手県	11月17日	33	京都府	11月17日	63	千葉A	11月17日	93	栃木9	11月18日
4	宮城県	11月17日	34	大阪府	11月17日	64	東京7	11月17日	94	栃木A	11月18日
5	秋田県	11月17日	35	大阪2	11月17日	65	東京8	11月17日	95	群馬A	11月18日
6	山形県	11月17日	36	兵庫県	11月17日	66	東京9	11月17日	96	千葉9	11月18日
7	福島県	11月17日	37	奈良県	11月17日	67	東京A	11月17日	97	千葉A	11月18日
8	茨城県	11月17日	38	和歌山	11月17日	68	神奈8	11月17日	98	石川B	11月18日
9	栃木県	11月17日	39	鳥取県	11月17日	69	神奈9	11月17日	99	石川A	11月18日
10	群馬県	11月17日	40	島根県	11月17日	70	神奈A	11月17日	100	福井A	11月18日
11	埼玉県	11月17日	41	岡山県	11月17日	71	新潟A	11月17日	101	長野9	11月18日
12	千葉県	11月17日	42	広島県	11月17日	72	静岡A	11月17日	102	長野A	11月18日
13	東京都	11月17日	43	広島2	11月17日	73	愛知A	11月17日	103	愛知7	11月18日
14	東京2	11月17日	44	山口県	11月17日	74	京都A	11月17日	104	愛知8	11月18日
15	東京3	11月17日	45	徳島県	11月17日	75	大阪7	11月17日	105	愛知9	11月18日
16	東京4	11月17日	46	香川県	11月17日	76	大阪8	11月17日	106	愛知A	11月18日
17	神奈川	11月17日	47	愛媛県	11月17日	77	大阪9	11月17日	107	京都9	11月18日
18	神奈2	11月17日	48	高知県	11月17日	78	大阪A	11月17日	108	大阪4	11月18日
19	神奈3	11月17日	49	福岡県	11月17日	79	福岡9	11月17日	109	大阪5	11月18日
20	神奈4	11月17日	50	佐賀県	11月17日	80	福岡A	11月17日	110	大阪6	11月18日
21	新潟県	11月17日	51	長崎県	11月17日	81	沖縄A	11月17日	111	鳥取A	11月18日
22	富山県	11月17日	52	熊本県	11月17日	82	団体1	11月17日	112	岡山9	11月18日
23	石川県	11月17日	53	大分県	11月17日	83	団体2	11月17日	113	大分A	11月18日
24	福井県	11月17日	54	宮崎県	11月17日	84	北団7	11月18日	114	団体K	11月18日
25	山梨県	11月17日	55	鹿児島	11月17日	85	北団8	11月18日	115	団体M	11月18日
26	長野県	11月17日	56	沖縄県	11月17日	86	北団9	11月18日	116	団体N	11月18日
27	岐阜県	11月17日	57	北団A	11月17日	87	岩手A	11月18日	117	団体O	11月18日
28	静岡県	11月17日	58	青森A	11月17日	88	宮城7	11月18日	118	団体Q	11月18日
29	愛知県	11月17日	59	宮城9	11月17日	89	宮城8	11月18日	119	団体R	11月18日
30	愛知2	11月17日	60	宮城A	11月17日	90	秋田A	11月18日	120	団体3	11月18日

No.	会場略称	試験日									
121	団体4	11月18日	133	宮城4	11月19日	145	香川A	11月19日	157	団体B	11月19日
122	団体5	11月18日	134	宮城5	11月19日	146	福岡6	11月19日	158	団体C	11月19日
123	団体6	11月18日	135	宮城6	11月19日	147	福岡7	11月19日	159	団体D	11月19日
124	団体7	11月18日	136	群馬A	11月19日	148	団体K	11月19日	160	団体E	11月19日
125	団体8	11月18日	137	埼玉8	11月19日	149	団体L	11月19日	161	団体F	11月19日
126	団体9	11月18日	138	埼玉9	11月19日	150	団体M	11月19日	162	団体G	11月19日
127	団体A	11月18日	139	神奈5	11月19日	151	団体N	11月19日	163	団体H	11月19日
128	北団5	11月19日	140	神奈6	11月19日	152	団体O	11月19日	164	団体I	11月19日
129	北団6	11月19日	141	新潟7	11月19日	153	団体P	11月19日			
130	青森9	11月19日	142	愛知3	11月19日	154	団体Q	11月19日			
131	岩手9	11月19日	143	愛知4	11月19日	155	団体R	11月19日			
132	宮城3	11月19日	144	広島9	11月19日	156	団体S	11月19日			

(ハ) 受験者数、合格者数等

写真・カメラに関わる実用知識、技能を客観的に評価認定する検定事業として、当年度は下表の通り、3級～1級の応募者数は6,638人、受験者数は6,021人、合格者数は4,017人の結果であった。なお、受験料は、前年度同様に自主会場（準会場）を設置しての団体受験の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は5%を割り引いて実施した。

受験級	区 分	応募者数	受験者数	合格者数
3 級	個人受験・一般会場	567	474	450
	団体・一般会場受験	163	152	138
	団体・自主会場受験	672	643	562
2 級	個人受験・一般会場	947	829	757
	団体・一般会場受験	206	187	156
	団体・自主会場受験	1,292	1,205	915
準1級	個人受験・一般会場	724	628	343
	団体・一般会場受験	156	141	77
	団体・自主会場受験	564	529	204
1 級	個人受験・一般会場	769	693	250
	団体・一般会場受験	144	135	53
	団体・自主会場受験	434	405	112
小 計		6,638	6,021	4,017
EX認定	(1ジャンル認定)	22	22	19
	(総合認定)	26	26	21
	(追加総合認定)	2	2	1
小 計		50	50	41
合 計		6,688	6,071	4,058

(ニ) 普及活動

各階級の受験者のプロフィールを下表の通りに設定し、一般写真愛好者から写真・カメラ関連業界の従事者に至るまでに機能する検定として、当法人の写真関連通信教育講座の受講生・修了生をはじめ、当法人が開催する総合写真展の出品者・観覧者や全国の写真愛好者、写真・カメラ関連業界など不特定多数の者を対象として、カメラ関係専門誌での広報、関連施設への受験案内書の配布やDM、関係社等への団体受験の広報活動により受験者を募る普及活動を行った。

階級	一般グループ	業界関連グループ
1級	写真専攻大学生 優秀レベル	メーカー 営業責任者
	写真専門学校生 優秀レベル	販売店 販売責任者
	メーカー等のスクール指導者	プロラボ/総合ラボ 責任者
		写真館 撮影担当
		アシスタントカメラマン
		専門誌編集者
		専門誌ライター
準1級	写真専攻大学生 並レベル	メーカー 営業担当
	写真専門学校生 並レベル	販売店 販売担当
	高校写真部顧問	プロラボ/総合ラボ 従事者
	写真愛好家 歴10年以上	技術・営業担当者
	地域のサークルリーダー	
2級	中学校写真顧問	メーカー 事務従事者
	高校写真部員	ミニラボ オペレーター
	写真愛好家 歴5～10年	写真館 窓口担当
	メーカー等のスクールメンバ	一般紙誌編集者
	地域のサークルメンバー	各種企業広報担当者
	カメラ機械愛好家	デザイナーアシスタント
	カメラ雑誌愛読者	フリー記者・ライター
		マスコミ・ジャーナリスト志望者
3級	中学写真部員	DPE 窓口担当者
	趣味愛好家 歴5年未満	(取次店含む)
	撮影機会の多い一般者	

(ホ) 検定委員等

試験問題の作成、合否判定等に関わる当年度の検定委員は、下表の通りの写真家および写真・カメラ関連メーカー技術者により構成し、資機材の汎用的技術・機能はもとよりメーカー毎の独自の技術や機能等も試験問題に正確に反映させた。また、試験問題について、(社)日本写真学会の学識経験者による監修も経て、より有意なものとすることに努めた。

	氏名等
プロ写真家関係	児島昭雄/徳光ゆかり/テラウチマサト/ 板見浩史/赤松秀夫
写真・カメラメーカー技術者関係	オリンパスイメージング(株)：1名/ キヤノンマーケティングジャパン(株)：1名/ 加賀ハイテック(株)：1名/(株)タムロン：1名/(株)シグマ：1名/ (株)ケンコー・トキナー：1名/(株)ニコンイメージングジャパン：1名/ パナソニック(株)：1名/富士フイルムイメージングシステムズ(株)：1名/リコーイメージング(株)：1名/ (株)市川ソフトラボラトリー：1名

(ヘ) 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1団体	4名(各級1名)
当法人による表彰	25団体	54名(各級合計)

[5] 公1-3: 写真・水墨画・絵画等の展覧会

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、当法人の通信教育受講生の継続学習の促進や広く一般の美術、芸術文化の普及、振興に寄与する目的で、以下の通りに展覧会を開催した。

(イ) 総合写真展

1. 展示点数等

当年度・第17回展では、審査により入選以上に該当した2,394点の作品を展覧会会場(下記4.)に展示して公開した。

出品部門		展示作品数
半切サイズ	フィルム写真部門	403
	デジタル写真部門	1,211
全紙サイズ	フィルム写真部門	206
	デジタル写真部門	574
合 計		2,394

2. 公募活動

前年度同様、当法人の「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」といった写真関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生に対して、写真作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が実施するフォトマスター検定の受験者、あるいは当法人が運営する展示館施設の観覧者・利用者を含む不特定多数の者に門戸を開く公募展として、カメラ関係専門誌、案内DM、カメラ関係販売店店頭でのリーフレット配布等の広報活動により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

審査員は、実績のある写真家を中心とする以下の専門家で構成し、応募作品の審査方法、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。なお、最終審査はその厳正を図るために、出品作品を希望規定サイズ(半切または全紙サイズ)にプリント(紙焼き)した作品により行った。

氏 名	経 歴
川合 麻紀	プロ写真家
徳光 ゆかり	プロ写真家
テラウチ マサト	プロ写真家
板見 浩史	写真評論家
丸林 正則	プロ写真家

4. 会期、会場、参観者数等

平成25年12月5日(木)から12月11日(水)の会期で、東京都美術館・1階第2~4展示室・2階第4展示室(東京都台東区上野公園8-36)を会場に、写真文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示・公表し、開催期間中の参観者は6,649人であった。また、上位作品25点については、平成26年3月1日(土)から4月21日(月)にかけて、軽井沢ギャラリー館(長野県北佐久郡軽井沢町長倉815)にも展示し、入場無料で一般公開した。

5. 表彰式

表彰式には全国より479名の出品者が参加し、平成25年12月5日(木)、午前10時より11時45分の時間帯で浅草ビューホテル(東京都台東区西浅草3-17-1)において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また上位作品については作品写真・氏名・賞名を全国版写真専門誌に掲載して公表した。

(ロ) 日美展「総合水墨画展」

1. 展示点数等

当年度・第18回展では、審査により入選以上に該当した1,409点の作品を展覧会会場(下記5.)に展示して公開した。当事業の計画は、1,400点の展示であったが、ほぼ計画値としての実施となった。

出品部門		展示作品数
作家部門	F30号/F20号/F15号	101
一般部門	F30号/F20号/F15号/F10号 /F8号/F6号/半切1/2	853
臨画部門	F10号/F8号/F6号/半切1/2	369
俳画部門	F8号/F6号/色紙	72
無鑑査出品	F50号/F30号/F20号	14
合 計		1,409

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座(美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座)を中心とする受講生・修了生に対して、墨を主体にして描く水墨画作品(類似の俳画作品を含む)を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、インターネット広告、案内DM、リーフレット配付などにより作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項(出品票付)を事前に提示した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展実行委員は以下の水墨画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※当年度は下記31名の委嘱審査員のうち、岡村 南紅/大竹 卓/久山 一枝/呉 斉旺/篠原 貴之/沈 和年/根岸 嘉一郎/藤崎 千雲/松本 深雪/村山 華風の10名の専門家が当番審査員として審査に当たった。
五十嵐 玉俊(水墨画家)/伊藤 昌(水墨画家)/打矢 恵(水墨画家) /畝村 石道(水墨画家)/大竹 卓(水墨画家)/岡村 南紅(水墨画家) /川端 豊次(水墨画家)/金 醒石(水墨画家)/久山 一枝(水墨画家) /呉 斉旺(水墨画家)/斉藤 南北(水墨画家)/篠原 貴之(水墨画家) /白澤 恵舟(水墨画家)/沈 和年(水墨画家)/杉谷 隆志(水墨画家) /高橋 英男(水墨画家)/千野 曜生(水墨画家)/張 弛(水墨画家) /南雲 稔也(水墨画家)/根岸 嘉一郎(水墨画家)/濱中 応彦(水墨 画家)/藤崎 千雲(水墨画家)/馬 駿(水墨画家)/松井 陽水(水墨 画家)/松本 深雪(水墨画家)/三浦 ひろみ(水墨画家)/村山 華風 (水墨画家)/山田 大作(水墨画家)/姚 小全(水墨画家)/吉見 公 子(水墨画家)/王俊 宇瀟(水墨画家)
※審査員による審査結果の最終承認等を行う当年度の「実行委員」は以下により組織した。
河野 元昭(秋田県立近代美術館館長、尚美学園大学大学院教授、東京大学 名誉教授)/島尾 新(東京大学文学部美学美術史学科卒、同大学院美術 史学専門課程修士課程修了、学習院大学教授)/安河内 眞美(美術鑑定士) /町田 泰宣(公益社団法人日本南画院会長)/品川 恵保(当法人理事長)

4. 現代水墨作家作品特別展示(現代水墨作家展)

本特別展示は、流派・派閥を超えた質の高い水墨芸術を第18回総合水墨画展に併設して展覧することにより、総合水墨画展はもとより日美絵画展(下記ハ)の出品者や観覧者の芸術に関わる涵養に資すると同時に、総合水墨画展および日美絵画展と相まって、我が国の美術、芸術文化の振興、発展によ

り寄与することを目指して開催した。当年度は、我が国の水墨画界の代表的作家 40 名(下表)を招聘し、開催に要する経費は、前年度同様に当法人が負担(表装および作品の搬入出経費は作家負担)した。

阿部 清子／五十嵐 玉俊／石井 礼子／伊藤 昌／打矢 恵／畝村 石道／浦上 義昭／及川 聡子／大竹 卓／岡本 東子／梶岡 俊幸／金澤 徹／川端 豊次／金 醒石／釘町 彰／久山 一枝／呉 一騏／呉 斉旺／酒井 祐二／坂田 祐加里／篠原 貴之／新恵 美佐子／沈 和年／杉谷 隆志／醍醐 イサム／高橋 英男／田中 武／千野 曜生／千葉 玄象／並木 功／根岸 嘉一郎／蓮村 泰子／濱中 応彦／藤崎 千雲／古舘 興／馬 驍／正木 康子／松本 深雪／三浦 ひろみ／村山 華風／山口 英紀／山田 大作／姚 小全／吉賀 あさみ／吉見 公子／王俊 宇瀟

5. 会期、会場、参観者数等

平成 25 年 8 月 8 日から 8 月 17 日の会期で、国立新美術館(東京都港区六本木 7-22-2)を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は 10,844 名であった。

6. 表彰式

表彰式には全国より 237 名の出品者が参加し、平成 25 年 8 月 8 日、午前 10 時より 11 時 30 分の時間帯で ANA インターコンチネンタル東京(東京都港区赤坂 1-12-33)において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

7. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は 802 部を発行した。

(ハ) 日美展「日美絵画展」

1. 展示点数等

当年度・第 14 回展では、審査により入選以上に該当した 1,956 点の作品を展覧会会場(下記 4.)に展示して公開した。

出品部門		展示作品数
油絵部門	F30 号／F20 号	264
	F15 号／F10 号	271
	F8 号／F6 号／F4 号	153
水彩画部門	F30 号／F20 号	91
	F15 号／F10 号	162
	F8 号／F6 号／F4 号	292
パステル画部門	F30 号／F20 号	11
	F15 号／F10 号	12
	F8 号／F6 号／F4 号	43
色鉛筆画部門	F30 号／F20 号	20
	F15 号／F10 号	58
	F8 号／F6 号／F4 号	178
デッサン部門	F30 号／F20 号	6
	F15 号／F10 号	10
	F8 号／F6 号／F4 号	38
日本画部門	F30 号／F20 号	33
	F15 号／F10 号	36
	F8 号／F6 号／F4 号	18
ちぎり絵部門	F10 号	24
	F8 号／大色紙	111
絵手紙部門	ハガキ形式／ 巻き手紙形式	125
合 計		1,956

2. 公募活動

当法人の美術関連の通信教育講座（美術品鑑賞・鑑定入門講座、レタリング講座）を中心とする受講生・修了生に対して、油絵・水彩画・パステル画・色鉛筆画・デッサン・日本画・ちぎり絵・絵手紙の各ジャンルの絵画作品を発表または無料観覧できる機会を提供して継続的学習に資し、同時に当法人が運営する展示館施設（軽井沢千住博美術館、および軽井沢ギャラリー館）の観覧者を含む不特定多数の者にも門戸を開く公募展として、案内DMやリーフレット配付、協賛社を窓口とする広報活動等により作品を募集した。なお、出品希望者に対しては全員に、出品に関わる事項を詳述した当年度の出品要項（出品票付）を事前に送付した。

3. 審査、審査員等

当年度の審査員および本展大賞選考委員は以下の画家等専門家で構成し、応募作品の審査、審査基準、授賞等については、「写真・水墨画・絵画等の展覧会管理運営規則」に基づいて運営した。

※「審査員」は以下の通り、部門別に当該分野の専門画家を置き、部門別の審査に当たった。

油絵部門	板倉 暁（画家）／遊馬 賢一（画家）
水彩画部門	西丸 式人（画家）／岸本 庄八郎（画家）
パステル画部門	たのい 俊一（画家）／大枝 隆司郎（画家）
色鉛筆画部門	岸 邦子（画家）／大枝 隆司郎（画家）
デッサン部門	村松 昌三（画家）
日本画部門	山本 真也（画家）／井坂 洋一（画家）
ちぎり絵部門	早川 美子（ちぎり絵作家）／大森 恭子（ちぎり絵作家） ／玉井 祐子（ちぎり絵作家）
絵手紙部門	花城 祐子（絵手紙作家）／平賀 啓子（絵手紙作家）

※上記の審査員による部門別の審査結果に基づいて、部門を横断しての上位優秀作品に授与する賞（全体賞）を選定、決定する当年度の「大賞選考委員」は、以下により組織した。

川口 紀美雄（画家）／千足 伸行（成城大学教授、画家）／
中野 淳（武蔵野美術大学名誉教授、画家）／
永井 龍之介（美術鑑定士他）／品川 恵保（当法人理事長）

4. 会期、会場、参観者数等

平成 25 年 8 月 8 日（木）から 8 月 17 日（土）の会期で、国立新美術館（東京都港区六本木 7-22-2）を会場に、美術・芸術文化の普及、振興のために入場料を無料として開催した。なお、各作品には、出品者氏名・作品名・授賞名を付して展示、公表し、開催期間中の参観者は 11,482 名であった。

5. 表彰式

表彰式には全国より 371 名の出品者が参加し、平成 25 年 8 月 9 日（金）、午前 10 時より 11 時 30 分の時間帯で ANA インターコンチネンタル東京（東京都港区赤坂 1-12-33）において開催した。なお、表彰式への参加は無料とし、付き添いについても席を用意して入場できるように配慮した。

6. 審査結果の公表および作品集

審査結果は、入選以上の全展示作品について、氏名・賞名等を記載した「出品目録」を作成して展覧会場で観覧者等に無料配布して公表し、また、入選以上の全作品を掲載した作品集も制作して公表、販売し、当年度は 993 部を発行した。

[6] 公1-4：芸術・自然科学に関する展示館施設

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき以下の通りに事業を運営した。

(イ) 軽井沢千住博美術館

1. 展示作品等

一般の観覧者はもとより、当法人の「美術品鑑賞・鑑定入門講座」、「写真作品創作塾」、「ハイキングとカメラ技法講座」、「レタリング講座」といった美術・芸術関連の通信教育講座を中心とする受講生・修了生の継続的学習に資し、あるいは当法人が開催する「日美絵画展」、「総合水墨画展」、「総合写真展」の出品者、観覧者を含む不特定多数の者に対する美術・芸術の涵養にも資するべく、当年度は、星のふる夜に（絵本原画一式）、夜桜満開、四季瀧図、ウォーターフォール、Dayfall/Nightfall、イグアス、フォーリングカラー、フラットウォーター、sky、遙か、クリフに加え、最新作の「三春の滝桜」など、千住博氏の初期作品から最新作までの掛け替えを含む延べ50数点を選抜して展示した。

また、平成25年5月末日、増築の「The Fall room」（ザ・フォール・ルーム）は予定通り完成し、6月5日、千住画伯がヴェネチア・ビエンナーレ絵画部門で日本人初の名誉賞を受賞した大作『ザ・フォール』（高さ3.4m×幅13.5m）を常設展示し一般公開を行った。

2. 開館日数、入館者数、障害者の入館料免除対応等

当年度は、平成25年4月1日から平成26年3月31日（平成25年12月26日から平成26年2月28日の期間は冬期休館）の期間で、開館日数は268日、延べ入館者数は下表の通り65,241名であった。なお、入館料を全額免除としている障害者および中学生以下の当年度の入館者数は、障害者が2,226名、中学生以下が2,330名となり、一定の社会貢献を果たすことができた。

入館者区分		入館人数
有料入館者	一般・個人	54,104
	一般・団体（20名以上）	2,728
	学生（高校～大学生）・個人	2,813
	学生（高校～大学生）・団体（20名以上）	558
	前売り券使用入館者等	16
入館料免除対象者	中学生以下	2,330
	障害者	2,226
その他	招待等	466
合計		65,241

3. 学芸員等による入館者に対する作品解説活動

入館者（主に団体入館者）からの要請があった場合には、当館学芸員による展示作品の解説を、無料で実施し、入館者の美術作品に対する理解の深化に努めた。

(ロ) 軽井沢ギャラリー館

当年度は、前年度末の3月1日から引き続き平成25年4月14日まで、千住博氏の公的スペースにおけるアートワークをパネルで紹介する「千住博のパブリックアート展」を開催。4月17日から5月27日までは、長野県在住の素朴画家・原田泰治氏の作品を展示する「原田泰治の世界展」を行った。6月1日から7月15日までは、千住博氏が舞台美術を手掛けた日本舞踊の演目を映像で紹介する「Waterfall×『日本舞踊×オーケストラ～伝統の競演～』展」を開催し、好評を博した。7月17日から8月18日を第一部、8月20日から9月19日までを第二部とした「千住博の弟子たち展」では、京都造形芸術大学で千住博氏に師事した若手日本画家たちの作品を展示。第一部期間中の8月11日から18日にかけては、夏休み企画「はじめての日本画」と題して、小学生以上～高校生以下の希望者を募り、簡単な日本画の描法を指導するワークショップも開催し、のべ165人の参加者を集めた。さらに、ここで参加者が制作した作品（色紙）は、9月21日から10月6日にかけて「はじめての日本画作品展」として展示し、日本画の親しみやすさや魅力の周知拡大に努めた。10月9日から12月25日までは、「千住博のパブリックアート展 2013 II」と題して、春の同名展で展示しきれなかった千住博氏のアートワークをパネルで紹介した。そして、冬期休館期間があけた平成26年3月1日からは（4月21日まで）、平成25年12月5日から11日まで、東京都美術館で開催した第17回総合写真展の上位作品25点を展示し、公1事業間の連携を図るとともに、写真の良作をより多くの人に披露すべく、観覧機会の拡大を図った。以上のように、当ギャラリー館では、多角的な展示を行なうことで、軽井沢千住博美術館の観覧と合わせて美術、芸術文化等の振興に寄与することができた。

開催期間	催し内容
(平成25年3月1日) ～ 平成25年4月14日	千住博のパブリックアート展
平成25年4月17日 ～ 平成25年5月27日	原田泰治の世界展
平成25年6月1日 ～ 平成25年7月15日	Waterfall×「日本舞踊×オーケストラ ～伝統の競演～」展
平成25年7月17日 ～ 平成25年8月18日	千住博の弟子たち展【第一部】 ◎ワークショップ「はじめての日本画」 8月11日～18日 午前と午後各1回ずつ開催
平成25年8月20日 ～ 平成25年9月19日	千住博の弟子たち展【第二部】
平成25年9月21日 ～ 平成25年10月6日	はじめての日本画作品展
平成25年10月9日 ～ 平成25年12月25日	千住博のパブリックアート展 2013 II
平成26年3月1日 ～ (平成26年4月21日)	第17回総合写真展・上位作品特別展

(ハ) 軽井沢カラーリーフガーデン

1. カラーリーフガーデンの活用

Acer platanoides 'Crimson king' (ノルウェーカエデ 'クリムソン・キング' /カエデ科) や *Betula pendula* 'Golden Cloud' (ヨーロッパシラカバ 'ゴールデン・クラウド' /カバノキ科)などの木本、*Lysimachia ciliata* 'Fire Cracker' (リシマキア・キリアタ 'ファイヤー・クラッカー' /サクラソウ科)や *Tradescantia × andersoniana* 'Sweet Kate' (トラデスカンティア・アンダーソニアナ 'スイート・ケイト' /ツユクサ科)などの草本等々、他の植物園等では見聞し難いカラーリーフプランツを約 150 種類以上、総数約 6 万株植栽している本ガーデンについては、植栽している主な種類の名前を科名・学名付で表記し、その写真も掲載した銘板を作成してガーデン内の主な繁茂地に設置し、観覧者の啓発、教化に努めた。

II 収 1：出版、物品販売、展覧会に関わる表装代行・親睦パーティー、貸室および業務受託の事業計画

[1]収 1-1：出版

定款第4条（事業）第1項第（3）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する各種出版物の刊行」に基づき、当法人が運営する通信教育講座の学習内容等に関連する以下の検定試験の受験対策用教本等を、受験希望者にカタログで案内するなどして販売した。当事業の計画では、フォトマスター検定関係：922冊、デジタル技術検定関係が1,860冊、ラジオ音響技能検定関係で1,110冊、レタリング技能検定関係で5,010冊であったが、フォトマスター検定関係は、団体の講習会向けに新たに作成した「写真とカメラの基礎知識」の需要が予定外に多かったため、既刊の過去問題の解答と解説と合わせて6,370部と大幅に増加した。デジタル技術検定関係、ラジオ音響技能検定関係、レタリング技能検定関係はほぼ予定数の実績となった。

関連する当法人の通信教育講座等	出版物の内容・種類と販売部数
文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	写真・カメラの全般的な知識、技法に関わるフォトマスター検定について、その過去問題の解答・解説を行う受験対策用教本。写真・カメラの全般的な基礎知識、基本技法について学ぶ教本 <出版物の種類> ①フォト検 過去問題の解答と解説1～3 / ②写真とカメラの基礎知識 / ③写真とカメラの基礎知識(追補) <販売部数> 当年度の販売部数は、合計：6,370部 ①フォト検 過去問題の解答と解説1～3：1,466部 ②写真とカメラの基礎知識：2,452部 ③写真とカメラの基礎知識(追補)：2,452部
文部科学省認定 「自動車講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「オートバイ講座」 （公1-1） 文部科学省認定 「写真作品創作塾」 （公1-1） 文部科学省認定 「ハイキングとカメラ技法講座」 （公1-1） フォトマスター検定 （公1-2）	自動車・オートバイ、あるいはデジタルカメラのデジタルシステムや音響に関係する、デジタル技術検定、またはラジオ・音響技能検定の過去問題の解答・解説等の受験対策用教本。 <出版物の種類：デジタル技術検定関係> 5級模擬問題解説集 / 4級模擬問題解説集 / 3級模擬問題解説集 / 2級模擬問題解説集 / 4級最新既出問題・解説集 / 3級最新既出問題・解説集 / 2級最新既出問題・解説集 <出版物の種類：ラジオ音響技能検定関係> 4級最新既出問題集 / 4級受験読本 / 3級最新既出問題集 / 3級受験読本 / 2級最新既出問題集 / 2級技術教本 <販売部数> 当年度の販売部数はデジタル技術検定関係で計1,836部、ラジオ音響技能検定関係で計1,048部、合計2,884部であった。
レタリング講座(公1-1) レタリング技能検定(収1-5)	レタリングに関する用語解説、常用漢字の文字見本帳の役割をはたすもの。下書きから墨入れまで手順を追って、レタリングの技法を詳細に解説したもの。検定試験の各級の範囲や選定基準が網羅されており、レタリング技能検定のすべてが分かる参考書。 <出版物の種類> 書体サンプル集 / 実戦レタリング / レタリング技能検定ガイド <販売部数> 書体サンプル集：4,371部。実戦レタリング：497部。レタリング技能検定ガイド：382部

[2]収 1-2 : 物品販売

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づき、以下の通りに当法人主催の展覧会に関わる出品作品の制作等に必要の用具用材類販売、出品者自身の展示作品を印刷するなどした記念品類の販売、および展覧会会場に設置した売店での用具用材類の販売、ならびに当法人の展示館施設(ミュージアムショップ)における観覧者への関連商品等の販売を行った。なお、日美絵画展および総合水墨画展に関わる出品希望者または出品者に対する関連商品の販売は、出品希望者に配布する各展の出品要項へのカタログ同封、あるいは入選以上該当者への授賞名通知(審査結果通知)にカタログを添付するなどして購入者を募った。当事業の計画では、総合水墨画展関連商品において、購入者1,000名、販売数2,300点、売店1,080,000円を予定したが、購入者はほぼ見込み通りであったものの、販売点数・売店売上において見込みを下回った。展示館施設関連商品においては、当初の入館者見込みおよび一人当たり購入単価が予定を下回ったために、計画より低い実績となった。展示館においては、団体客や家族などのグループ入場者の増加によって、一人当たりの購買金額が減少することが見受けられるが、その比率を予想することは難しい。今後の課題としては、魅力ある商品の展開を続けることで、一人当たりの購買金額の向上を目指し、収益を改善させ収益性を高めることを目標とする。

	販売品目と販売点数等
日美絵画展関連商品類(公13)	<p><カタログでの販売品目> 油絵用筆類/油絵具類/キャンバス類/画用液/水彩用筆類/水彩絵具類/水彩用紙/色鉛筆/日本画用筆/麻紙ボード/パステル/パステル用フィキサチーフ/パステル用スケッチブック/汎用スケッチブック/ちぎり絵用和紙類/ちぎり絵用台紙/顔彩類/画用印/絵手紙用筆/絵手紙箋/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約65品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が1,132人、販売商品の延べ販売数が2,039点であった。</p>
総合水墨画展関連商品類(公13)	<p><カタログでの販売品目> 毛筆類/墨/墨液/顔彩/用紙類/印泥付雅印/印泥/印矩/下敷/紙断包丁/ドーサ塗り用刷毛/ドーサ液/わんぱう/膠液/自作を印刷したパネル/自作を印刷したハガキセット等、約160品目</p> <p><同販売点数等> 当年度は、購入者が993人、販売商品の延べ販売数が2,079点であった。</p> <p><総合水墨画展会場に設置した売店コーナーでの販売> 上記に準じた水墨画関連の用具・用材類を中心に雑多取り揃えて総合水墨画展会場の一角に売店コーナーを設け、出品者や観覧者の便にも供する目的で販売した。9日間の会期で本売店における収入は8,381,165円であった。</p>
展示館施設関連商品類	<p><販売品目> ポストカード/レターセット/ミュージアムフォルムノート/オリジナル名刺入れ/作品アートタイトル/シンボルマークキーホルダー/オリジナル菓子類/美術館カタログレゾネ/美術館DVD/千住博の各種著作物/カラーリーフガイドブック等、約400品目</p> <p><販売点数等> 当年度は、開館日数269日間における販売商品の延べ販売点数は70,966点であった。</p>

[3]取 1-3：展覧会に関する表装代行・親睦パーティー

定款第4条（事業）第1項第（5）号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」に基づいて開催した各展覧会に関わる展示作品（入選以上該当作品）の表装代行、および出品者が希望により参加する親睦パーティーの開催に関わる事業を以下の通りに運営した。なお、各展覧会における表装は、額装や軸装などの材質・形状・色柄等の違いなど本来の作品性とは異なる二次的要素によって作品の本質的な鑑賞が妨げられることを防ぐためにその規格と品質、仕様の統一を図る目的で、あるいは出品者が全国各地にわたり在住地域によっては適確な表装手配に困難を来す場合もあること、あるいは不良梱包などにより表装が発送途上で破損する危険を回避し、表装済作品の嚴重梱包・送付に要する出品者負担を軽減するなど、出品者の利便性確保の目的で、事前に表装代行に関わる料金等を出品要項に記載してこれを出品希望者全員に知らせた上で当法人が信頼できる専門業者を選定して代行依頼した。また、出品者に対しては、展覧会終了後に、リースの場合は作品のみを（総合写真展および総合水墨画展は裏打ち・マット付の状態）、買取の場合は表装した状態のままで返送した。

(イ) 総合写真展（公1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装（規定サイズへの紙焼き除く）代行した作品点数
半切	買取	1,110
	リース	504
全紙	買取	615
	リース	165
合計		2,394
総合写真展の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した		
開催日時：平成25年12月5日（木）12時～14時		
場 所：浅草ビューホテル（東京都台東区西浅草3-17-1）		
参加人数：194人		
その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

(ロ) 日美展「総合水墨画展」（公1-3）に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F50号	買取	2
	リース	2
F30号	買取	168
	リース	80
F20号	買取	228
	リース	79
F15号	買取	104
	リース	32
F10号	買取	143
	リース	36
F8号	買取	229
F6号	買取	54
半切1/2	買取	221
色紙	買取	31
合計		1,409
日美展「総合水墨画展」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した		
開催日時：平成25年8月8日（木）12時～14時		
場 所：ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京都港区六本木1-12-33）		
参加人数：151人		
その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

(ハ) 日美展「日美絵画展」(公1-3)に関わる表装代行、親睦パーティー

表装区分		表装代行した作品点数
F30号	買取	161
	リース	52
F20号	買取	145
	リース	67
F15号	買取	155
	リース	30
F10号	買取	318
	リース	70
F8号	買取	312
F6号	買取	281
F4号	買取	212
大色紙	買取	28
ハガキ形式	買取	84
巻き手紙	買取	41
合計		1,956
日美展「日美絵画展」の親睦パーティーは会費制により以下の通り実施した 開催日時：平成25年8月9日(金)12時～14時 場所：ANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区六本木1-12-33) 参加人数：215人 その他事項：上位作品をスライド映写して会場で公表すると同時に審査員による当該作品の講評と解説を行った。		

[4]収1-4:貸室

定款第4条(事業)第1項第(5)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する展覧会や展示館の運営」および同第(6)号「その他この法人の目的達成に必要な事業」に基づき、貸室料を前払いで月額210,000円(税込)、水道光熱費を実費払いとして当法人の展示館施設(公1-4)の建物の一部(床面積162.13㎡)をカフェ用に貸室する事業を運営した。

[5]収1-5:業務受託等

定款第4条(事業)第1項第(2)号「第1号に掲げる通信教育の分野に関する研究」に基づき、関連通信教育講座の学習指導等に寄与、反映させるべく、「デジタル技術検定」(当法人の自動車、オートバイ、デジタルカメラ関連講座に関連)、および「ラジオ音響技能検定」(当法人の自動車、オートバイ講座に関連)、レタリング技能検定(当法人の美術品鑑賞・鑑定入門講座、日美展に関連)の試験実施に関わる業務(受験に関わる案内書配布等、試験会場予約、検定委員会運営、試験日の諸対応等)を主催事業として実施した。なお、本事業は公益財団法人実務技能検定協会が主催し、当財団が業務受託していた事業を、平成24年度に事業譲渡で継承したため、本項目に分類している。

(イ) デジタル技術検定

1. 試験実施日

平成25年6月23日・日曜日

平成25年11月24日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

6月(本会場17、準会場33、計50会場)

11月(本会場17、準会場37、計54会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、情報処理・制御に関する技術をデジタル技術という観点からまとめて評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は3,123人、受験者数は2,843人、合格者数は1,643人の結果であった。なお、受験料は本会場実施団体および延べ30名以上の準会場団体の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割り引いて実施した。

受験級	応募者数	受験者数	合格者数
1級情報	49	40	7
1級制御	74	61	8
2級情報	531	473	268
2級制御	782	703	323
3級	1,149	1,061	657
4級	505	474	356
5級	33	31	24
合計	3,123	2,843	1,643

4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／元東京工科大学教授：1名／

東京工科大学教授：1名／日本大学教授：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	3団体	6名(各回・各級1名)
外部団体の表彰		6名(各回・各級1名)
当法人による表彰	4団体	90名(各回各級合計)

*外部団体＝日本技能検定協会連合会会長賞

(ロ) ラジオ・音響技能検定

1. 試験実施日

平成25年11月10日・日曜日

2. 試験会場

各都道府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

11月(本会場12、準会場21、計33会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、エレクトロニクス・オーディオの知識・技能をアナログ技術という観点から総轄して評価するもので、当年度は下表の通り、応募者数は803人、受験者数は726人、合格者数は348人の結果であった。なお、受験料は本会場実施団体および延べ30名以上の準会場団体の場合は10%を、一般会場で受験する団体受験の場合は延べ15名以上受験で10%を割り引いて実施した。

受験級	応募者数	受験者数	合格者数
1級	9	8	0
2級	170	149	35
3級	343	301	150
4級	281	268	163
合計	803	726	348

4. 普及活動

工業高校・高等専門学校などの関連する教育機関や企業に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、専門誌への情報提供等により、受験者を募集した。

5. 検定委員等

検定委員は下記学識経験者により構成し、委員会を開催して、試験問題の作成や合否判定等を行った。

日本大学名誉教授：1名／元日本電気㈱技術者：1名／
元松下通信工業㈱技術者：1名／元NHK受信技術部長：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	1 団体	1 名
外部団体の表彰		1 名
当法人による表彰		23 名(各級合計)

*外部団体＝日本技能検定協会連合会会長賞

(ハ) レタリング技能検定

1. 試験実施日

平成 25 年 6 月 2 日・日曜日

2. 試験会場

各都府県の本会場及び特設会場(準会場)において実施した。

(本会場 21、準会場 159、計 180 会場)

3. 受験者数、合格者数等

本検定は、美しく表情豊かな文字をデザインする知識と技能を評価するもので、当年度は下表の通り、志願者数 6,838 人、受験者数 6,647 人、合格者数 4,533 人の結果であった。なお、受験料は、自主会場の団体受験の場合は 10%を、一般会場で受験する団体の場合は、5%を割り引いて実施した。

受 験 級	志願者数	受験者数	合格者数
1 級	59	56	4
2 級	772	757	249
3 級	4,189	4,090	2,873
4 級	1,818	1,744	1,407
合 計	6,838	6,647	4,533

4. 普及活動

工業高校・専修学校・専門学校などの関連する教育機関や団体に受験案内書を送付する他、ポスター掲示、ウェブサイト、情報誌等への情報提供等により受験者を募った。

5. 検定委員等

平成 25 年度の検定委員は、下記の専門家により構成し、委員会を開催して試験問題の作成や合否判定等を行った。

デザインオフィス主宰・グラフィックデザイナー：1名／

デザインオフィス主宰・文字・書体デザイナー：2名／

孔版文字・孔版画家&文字デザイナー：1名／

多摩美術大学造形表現学部デザイン学科講師・

文字書体デザイナー：1名／

日本大学芸術学部デザイン学科教授：1名

6. 成績優秀者の顕彰

検定試験の結果が優秀と認められた団体受験または個人受験については、別に定める選考基準に基づき、以下の通り表彰した。

	団体受験に対して	個人受験に対して
文部科学大臣賞	2 団体	2 名
外部団体の表彰		2 名
当法人による表彰	8 団体	16 名(各級合計)

*外部団体＝日本技能検定協会連合会会長賞